

め、関係各市町と共同によるドクターヘリの運航を開始する予定です。

総合病院は、一般会計の支援のもと経営改善を進め、平成16年度に発生した資金不足が平成24年度に解消されたところであります。昨年9月の病院事業経営調査特別委員会報告の指摘・助言を踏まえ、今後の経営安定化のため、医師確保に最大限努力、町民が安心して医療を受けられるための環境整備に努めてまいります。

建設改良計画については、本館棟改築事業を本年3月着工し、平成28年度までの4か年予定しており、本館棟完成時に電子カルテシステムを平成27年度までの2か年で導入いたします。

災害拠点病院・地域センター病院としての機能を維持、充実させるとともに、将来の総合病院の姿を描く病院づくり構想の策定を進めてまいります。

国保病院は、熊石地域における唯一の病院として、地域住民への適切な医療の提供や健康を守るための予防医療の役割を果たし、救急診療についても安心して来院できる体制を堅持し、引き続き地域医療の充実に努めてまいります。

(2) 高齢者福祉の充実
本町の高齢化率は28.4%と急速に進行しており、保健・医療・福祉に対するニーズは益々

高まっております。

高齢者の方々が住みなれた地域で心身ともに健やかな暮らしができるよう地域社会全体で支えあい、関係機関と連携を図りながら、高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進してまいります。

今年度は、平成27年度から平成29年度までの第6期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画の策定年であり、保険料の見直しの時期となりますが、介護保険法の大幅な改正が予定されておりますので、適切な介護サービスが提供できるようニーズ把握に努め計画を策定いたします。

高齢者虐待の早期の発見、成年後見人制度等の普及啓発に努め、高齢者や障がい者が自らの権利を守り、尊厳ある自立した生活を送ることができるよう支援するとともに、認知症についても地域で安心して暮らせるよう「町民みな認知症サポーター」を目指し、養成講座に積極的に取り組んでまいります。

(3) 子育て支援の推進
子育て支援センターは、子育てに関する相談や地域に出向いた活動、また、子育てサークルの育成や子育て親子の交流促進などを通して、子育て支援の充実に努めてまいります。

子ども発達支援センターは、発達遅れや障がいのある児童

とその家族への支援のため、前年度作成した「育ちと学びの応援ファイル カラフル」の活用を図りながら、関係機関との連携協力により適切な発達支援や相談支援に努めてまいります。

児童虐待につきましても、ネグレクトが多い傾向にあることから、早期発見・早期対応に努め、児童相談所をはじめ関係機関との連携を図りながら、児童が健全に養育されるよう支援してまいります。

昨年10月より民営化した「あかしや保育園」の園舎改築につきましても、既に園舎建設工事契約も終了し、工事が順調に進みますと、本年秋ごろには新園舎での保育が開始される予定であり、他の保育園につきましても「事務事業の見直し方針」に基づき、引き続き保護者や地域の皆様と協議してまいります。

これらの子育て支援事業を実施しながら、平成27年4月からの子ども・子育て支援法の施行に向けた、子ども・子育て支援事業実施計画を策定し、より良い子育て環境が図られるよう努めてまいります。

少子化対策として様々な施策を実施しておりますが、医療費の助成制度についても検討してまいります。

(4) 障がい者（児）福祉の充実

障がい者が住み慣れた地域で、適切なサービスを選択しながら自立した生活を送ることができるよう、障害福祉サービスや地域生活支援事業の充実に努めます。また、障がい者の就労支援に努めるとともに、地域生活への移行と自立支援が円滑に行われるよう、障害福祉サービス事業所などの関係機関と連携し、積極的に推進してまいります。

地域で暮らす障がい者の相談支援の重要性が増しており、多様なニーズに対応できるよう体制の充実を図ってまいります。

さらに、障がい者の虐待を防止し、差別や偏見がなく、きめ細かな情報提供により誰もが安心して生活できるよう、障がい者団体や家族会等の育成に努めてまいります。

今年度は「第3次八雲町障害者計画」および「第4期八雲町障害福祉計画」の策定年であり、昨年実施したアンケート調査結果や町内障害福祉サービス事業所の事業展開などを踏まえ計画を策定し、障がい者施策の一層の促進を図ってまいります。

(5) 地域福祉活動の推進
高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で安心して暮らしているよう、各町内会や民生委員協議会等関係団体と連携しながら、

それぞれ活動をを通して声掛けや見守り活動が推進されるよう支援してまいります。また、社会福祉協議会との更なる連携により、ボランティア団体の活動支援や地域ボランティアの育成、人材確保への支援に努めてまいります。

昨年度から改築に着手しました「熊石福祉センター」は、生涯学習機能を包含した施設として本年度竣工予定であります。

6. 学ぶ力を培い豊かな人間性を育むまちづくり

少子高齢化をはじめ、産業構造の変化やグローバル化などが進展する中で、学校や子どもたちを取り巻く社会環境や生活様式も大きく変化しており、子どもたちの学力や体力、いじめや生活習慣の問題など、様々な教育課題への対応が求められています。

こうした中であって、学校教育の推進と生涯学習の振興のため、学校・家庭・地域社会の三者が様々な分野で連携・協力することが求められています。

このため、教育委員会と密接な連携の下に「新八雲町総合計画」および「第1期八雲町教育推進計画」を基本とし、八雲町教育の振興発展に努めてまいります。